

科目名	助産論V (ウィメンズヘルスケア) Midwifery V	担当教員 (研究室番号)	渡邊 聡子 (102) 岩田 朋美 (101) 大平 肇子 (104) 杉山 泰子 (103) 市川 陽子 (105) 辻 まどか (105)	教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	4年次 後期	科目区分	専門科目・生涯看護学	選択区分	自由	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										オープンクラス	否
科目目的	セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの視点から、ライフステージ各期の女性の健康課題およびケア方法について理解を深め、助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力について考察する。生殖補助医療や出生前診断に関する動向を知り、生殖に関わる倫理的問題について理解し、追及する姿勢を養う。										
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)									
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)									
到達目標	1. セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ、プレコンセプションケアなど、ウィメンズヘルスに関連する主要な概念について説明することができる。 2. 女性のライフサイクル各期における健康課題と支援について説明することができる。 3. ウィメンズヘルス領域の関心のあるトピックスについて、課題、研究の方法等について調べ、自分の考えや意見を述べることができる。 4. ウィメンズヘルス領域における助産師の役割や必要とされる能力について記述することができる。										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (40%)、ディスカッションへの参加度 (20%)、最終レポート課題 (40%)										
再試験の有無と基準等	無：筆記試験は助産師に求められる基本的な知識が定着していることを前提としている。また、複数回の演習への取り組みにより評価するため、科目の合格結果で不合格となった場合、再試験は実施しない。										
教科書	授業時に適宜紹介する										
参考書等	助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論・母子保健 (日本看護協会出版会) 助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウィメンズヘルスケア (日本看護協会出版会) そのほか、授業時に適宜紹介する										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	学生のプレゼンテーションをもとにディスカッションを行います。各テーマに関する文献および資料を事前に読み込み、授業に積極的に参加してください。										
備考	助産師国家試験受験資格取得のための必須科目です。助産論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳおよび助産学実習の単位を修得していることが履修の前提となります。										
回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法							
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方 (文献の見つけ方、読み方、プレゼンテーション資料の作成およびプレゼンテーションの仕方など) について説明する。課題の決定および文献検索を行う。	渡邊	講義							
2回	思春期の女性に対するケア	思春期に特有の健康課題・問題、影響要因、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	演習							
3回	プレコンセプションケア	プレコンセプションケアの概念、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	演習							
4回	成熟期の女性に対するケア	成熟期に特有の健康課題・問題、影響要因、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	演習							
5回	周産期の女性や家族に対するケア	周産期に特有の健康課題・問題、影響要因、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	演習							
6回	更年期・老年期の女性に対するケア	更年期・老年期に特有の健康課題・問題、影響要因、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	演習							
7回	生殖補助医療・出生前診断に関わる妊婦・家族への支援	生殖補助医療・出生前診断に関わる健康課題・問題、影響要因、看護実践および研究的課題等について学ぶ	渡邊他	講義							
8回	出生をめぐる倫理的課題と支援	助産実習における事例を用いて、倫理的課題/問題について討議を行い、倫理的意思決定支援について学ぶ	渡邊他	演習							
学 習 課 題											
2~8回目課題 (事前) : プレゼンテーションの3日前までに資料を作成し、Webclassを介してメンバーに配信する。メンバーは資料を熟読し、ディスカッションに望む。											
2~8回目課題 (事後) : メンバーは各プレゼンテーションに対して、Webclassを介してフィードバックを行う。発表者はメンバーからのフィードバックを踏まえて、最終レポートを完成させ提出する。											
実務経験を活かした教育の取組											
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践および教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。											